

地域に寄り添う、

医療をつなぐ

中西医師

×

久保田医師

×

林市長

4月1日から国保青垣診療所の常勤医師が二名体制となり、診療体制が充実しました。  
同診療所で勤務する二名の医師と市長が地域医療をテーマに対談しました。

(問) 国保青垣診療所 ☎ 87-0109

林市長 平成22年から常勤医師一名体制という厳しい状況の中、ご活躍いただきありがとうございます。振り返ってみて、この14年間はいかがでしたか。

久保田医師 体が2つあればと思うことは何度もありました。

訪問診療中に、緊急の外来患者を受け入れることや、診療所で患者さんを診察している間にも、急を要する外来患者を受け入れることはよくありました。一方の患者さんには申し訳ないと思いつつも、急を要する方を優先せざるを得ず、もどかしい思いをすることはあ

14年間を振り返って



たかのり  
久保田孝則 医師

りました。

ただ、一名体制という条件は、他の開業医の先生も同じです。各先生の献身的な努力で地域医療が成り立っていると思うと、大変なこともありましたが、充実した時間を過ごすことができましたと思います。

これまで大きなトラブルもなく、順調に続けることができたのは、看護師やスタッフの支えがあつてのことです。本当に感謝しています。

医師二名体制で医療サービスの充実を

久保田医師 二名体制となったことで、仕事を分担し、

診療所を不在にすることなく、それぞれが外来診察や訪問診療に専念できるようになります。今後は、より充実した医療サービスを展開できると思っています。

ほかには、もう少し地域に向き取り組みにも挑戦したいと考えています。

具体的には、自治会の集まりなどを中心に、地域の中に入って健康や病気などについてお話しする健康講座などの啓発活動ができればと思います。

医師を大事にできるまちに

林市長 健康講座などの啓発活動を通じて、健康に関する知識や病気の予防について関心を持つ人が増えることは、非常に良いことだと思います。正しい知識を持つ患者が増え、将来的には医師の負担が軽減するのではと期待しています。

かつて、丹波市には「県立柏原病院の小児科が閉鎖の可能性」という報道をきっかけに、「県立柏原病院の



医師を大事にできるまちに

林 時彦 市長

小児科を守る会」が結成されるという市民運動がありました。この運動では、市民団体が症状別のフローチャートを作成し、5歳までの子どもがいるすべての家庭に配布しました。その結果、県立柏原病院の小児科の緊急外来は、4分の1まで減少しました。

こうした市民運動をきっかけに、丹波市には医師を大事にしたいという思いを持つ人は多いように感じていますし、これからも引き継がなければならないと思います。

例えば、緊急性が低い人が救急外来を受診する事がコンビニ受診と言いますが、

このコンビニ受診が医師の負担を重くしています。持続可能な地域医療を支えるには、私たち市民も「感謝の気持ち伝える」「コンビニ受診を控える」「医療や健康に関する正しい知識を学ぶ」といった賢い患者になる必要があると考えています。

**医療や福祉、行政との連携を**

**林市長** 中西先生は、赴任されてから2週間が経ちましたが、丹波市はいいがですか。

**中西医師** 家族や地域の人同士のつながりが強いなどという印象を受けました。これは医学的にも良いことだ



地域の強みを医療にも生かしたい

中西 潤 医師

と思います。地域の強みを医療にも生かせるようにサポートしたいです。

私は総合診療科を専門としています。総合診療科で診るのは病気だけでなく、患者の性格、家族や地域コミュニティなどその人全体を診て医学的な援助を行います。特に、高齢者は複数の病気を抱えている場合があります。背景には、家族、介護、経済的な問題があったり、一筋縄ではないことが多いです。事態の解決には医師だけではなく、医療、福祉、行政との連携も必要不可欠です。

**新しい地域医療のシステムをつくる**

**中西医師** 私は丹波市に来る前は岡山県にある西粟倉村の国保診療所で、非常勤の医師として勤務していました。これまでの経験をもちに、丹波市でも一から関係を築きながら、新しい地域医療のシステムを作りたいと考えています。そのためには私のことを知ってもらうに、信頼してもらえらうに、何事にも地道に活動していきたいです。

まずは、久保田医師がおっしゃったような、健康講座からはじめてみたいですね。また、何年かかるかわかりませんが、医療の充実を通して

「丹波市ええな、ここで育児や就労したいな」と皆さんに思ってもらえるよう、まちづくりにも貢献したいです。

**運命的な丹波市との出会い**

**久保田医師** 私は生まれ育った地元に戻りたいと考えていた時に、当時の旧青垣町の職員に誘われ、医師として帰ってきました。中西先生はいいがでしたか。

**中西医師** コロナ禍もあり、一時は大学に戻ることも考えていました。ただ、現場で働くことが好きで、地域医療に貢献できる場所を探していたところに丹波市との出会いがあり、本当に運命を感じています。

また、私は山登りが好きなのですが、丹波市には周囲にたくさん山がありますね。最近だと若屋山に登り、まちが一望できる景色に感動しました。

**林市長** 毎朝私が登っている黒井城跡にもお越しください。運が良ければ綺麗な雲海を見ることが出来ますよ。運がいい！（雲海）なんてね。（笑）

## 国保青垣診療所は医療・介護サービスが充実しています！

内科のほか小児科や眼科、皮膚科、通所・訪問リハビリテーションなど、様々な医療・介護サービスを提供しています。  
内科 月～土（診察時間 8：30～12：00）月火水金（診察時間 16：00～18：30）※第2・第4土曜日は休診  
※すべての診療科の受付時間は診察時間終了の30分前となります。

### 検 査



レントゲン検査や内視鏡システム、X線CT装置など、高度な医療機器を備え病気の早期発見が可能です。

診療放射線技師 松原 誠

■診療日・診察時間  
診察時間内



X線CT装置などの高度な医療機器を備えています

### 通 所・訪問リハビリテーション



介護予防や介護が必要な状態になっても自宅で生活が続けられるように、運動療法を中心とした支援やアドバイスを行います。

理学療法士 畑井 貴弘

■開所日・時間  
【通所リハビリテーション】月～金曜日（8：30～17：15）  
【訪問リハビリテーション】月～金曜日（相談に応じます）



通所リハビリテーションの様子

### 小 児科



小児科診察と、小児定期予防接種を含めた一次医療を展開しています。症状に応じて、丹波医療センターとの連携も行います。

丹波医療センター派遣医師 酒井 國安

■診療日・診察時間  
水曜日（8：30～12：00、14：00～17：00）  
木曜日（8：30～12：00）

### 訪 問看護ステーション

看護師が自宅へ訪問し、主治医の指示のもと、健康状態の観察、相談、療養上のケアを行い、自宅での療養生活をサポートします。



管理者 足立 友代

■開所日・時間 月～金（8：30～17：15）  
■問い合わせ ☎ 80-5200

### 眼 科



年齢を重ねると、目の病気やトラブルが増えてきます。丹波医療センターと連携を行い、早期発見や治療に努めています。

眼科医師 林 一

■診療日・診察時間  
火曜日（14：00～17：00）  
金曜日（9：00～12：00）

### 皮 膚科

女性の肌の悩みや若い人のニキビにもしっかり対応します。症状に応じて内科や丹波医療センターとの連携も行います。



皮膚科医師 林 ちさ

■診療日・診察時間  
火曜日（14：00～17：00）



国保青垣診療所  
看護師長 谷口 秀美さん

久保田医師はこれまで、日中の外来診療や訪問診療に加え、休日の往診などを一人で担い、大変だったと思います。さらにコロナ禍で、発熱患者の診察や検査、コロナワクチンの個別接種なども行っており、非常に多忙です。

4月からは常勤医師二名体制となり、診察・訪問診療などを分担できるようになりました。また、医師同士の連携や相談ができる環境が生まれたことで、これまで以上に充実した地域医療サービスが可能になると思います。

私たち看護師も、スムーズに医師の診察が行えるようサポートし、先生方と同じ目線で意見交換ができるよう、日々努めています。また、患者さんの小さな変化にも気付くことができるような看護を行い、医療へとつなげていきたいと思っています。



青垣地域自治振興連合会  
会長 足立 篤夫さん

全国的な医師不足は本市でも深刻な問題です。私たち青垣地域自治振興連合会では、青垣診療所の医師体制の充実について、活動を続けてきました。このたび、地域にとって悲願であった、常勤医師二名体制が実現し、とても喜んでいきます。

これまで長い間、久保田先生には一名体制で頑張っていたいただき、地域住民一同感謝しております。久保田先生には患者の体の状態を細部にわたり理解し、迅速かつ的確な医療を提供していただいています。

近年、各地域で高齢化が進んでおり、車の運転が不安な人など、医療機関への移動が困難な人が増えています。

また、長年親しみ暮らしてきた地域から、病気を理由に離れることは望んでおらず、訪問診療の充実を求める声は地域から

も多くありました。

このたび中西先生を迎え診療所常勤医師が二名体制となったことで、外来診察や訪問診療が、より充実することを期待しています。

青垣診療所は、地域住民にとって、なくてはならない存在です。これからもずっと存続することが必要だと考えていますし、そのためには私たちもお願いするだけではいけません。

ボランティアで診療所周辺の清掃活動などを行い、患者さんや地域の人にとって心地良い環境を整備するなど、自分たちができることから、地域医療を支えていきたいと考えています。



診療所周辺の落ち葉の掃き取りや、木の剪定をする地域のボランティア



青垣地域在住  
山口 紫野さん

丹波市の豊かな自然に魅了され、結婚を期に大阪から移住してきました。このたび、常勤医師が二名体制となり、医療が充実することさらに住みやすくなったと感じています。青垣診療所は内科、眼科や皮膚科など、さまざまな医療サービスが一つに集約されているのが良い点だと思います。

娘はまだ幼く、急な発熱などの体調不良を訴えることもあると思いますが、認定こども園からも近く、丹波医療センターから派遣で来られている小児科医師もいて、丹波医療センターとの連携があるのも心強いです。また、祖父母と同居していますが、共働きで家を空けることも多く、心配もあります。たが、医師が二名体制となり、訪問診療なども充実することに期待しています。

国保青垣診療所の診察はネット予約が便利です

携帯電話、スマートフォン、パソコンのインターネットから診察の予約が可能です。アクセス後の手順は画面がナビゲートします。QRコードが読み取れない場合は、URLを入力ください。



<https://ssc8.doctorqube.com/aogaki/>

